

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券は帳簿価額による(償却原価法に基づいて算定した価額)。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品 定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金 期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残額

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,604,000	99,000	0	299,703,000
小 計	299,505,000	99,000	0	299,703,000
特定資産				
退職給付引当資産	2,884,853	694,849	0	3,579,702
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
国際交流事業基金(普通預金)	18,306,085	0	2,426,574	15,879,511
小 計	231,190,938	694,849	2,426,574	229,459,213
合 計	530,893,938	793,849	2,426,574	529,162,213

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	299,703,000	—	299,703,000	—
小 計	299,703,000	—	299,703,000	—
特定資産				
退職給付引当資産	3,579,702	—	3,579,702	3,579,702
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	—	210,000,000	—
国際交流事業基金(普通預金)	15,879,511	—	15,879,511	—
小 計	229,459,213	—	229,459,213	3,579,702
合 計	529,162,213	—	529,162,213	3,579,702

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	額 面 千円	帳簿価額 (a)	時 価 (b)	評価損益 (b)-(a)
公社債				
オリックス	100,000	99,703,000	104,760,000	5,057,000
14回三井住友FG	50,000	50,000,000	49,975,000	△ 25,000
27回三井住友銀行	20,000	20,000,000	20,934,000	934,000
大和証券G本社	20,000	20,000,000	20,028,000	28,000
8回三井住友トラストHD	30,000	30,000,000	29,976,000	△ 24,000
51回ソフトバンクグループ	20,000	20,000,000	20,704,000	704,000
リパッケージ・ユーロ円債(SMFG)	50,000	50,000,000	50,000,000	0
シルプリミテッドシリーズ50298	50,000	50,000,000	49,900,000	△ 100,000
ABNアムロ銀行	40,000	40,000,000	40,072,000	72,000
シングルネーム・クレジットリンク債	30,000	30,000,000	30,000,000	0
57回クレディセゾン	30,000	30,000,000	30,033,000	33,000
クレジットリンク債	50,000	50,000,000	49,240,000	△ 760,000
リパッケージ・ユーロ円債(COMMERZBANK)	10,000	10,000,000	10,000,000	0
第3回MS&ADインシュアランス	10,000	10,000,000	10,112,000	112,000
合 計	510,000	509,703,000	515,734,000	6,031,000